

# 平成27年度 学校自己評価システムシート (県立児玉高等学校)

目指す学校像	生徒の可能性を伸ばし、「知」「徳」「体」のバランスのとれた生徒を育成し、進路希望を実現させる、地域に根ざした学校
--------	----------------------------------------------------------

重点目標	1 学習指導の工夫により、主体的に取り組む態度を養い、基礎学力の向上を図る。 2 開かれた学校づくりを推進し、地域から信頼し愛される学校を目指す。 3 基本的生活習慣と規範意識を向上させ、部活動や学校行事をとおして学校を活性化する。 4 キャリア教育の充実を図り、生徒自らが主体的に進路選択し、進路希望を実現させる。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況
1	・様々な学習歴・生育歴を待った生徒の入学により、基礎学力の向上が大きな課題である。高校の早い段階での学び直しや分かりやすい授業を実践することにより、生徒にできる喜びを味あわせ、自ら目標を持って学力を向上させる態度の育成が必要である。	・「学び直し」の実践から基礎学力を向上させる。	①各教科が「学び直し」効果的な方法を考え実践する。 ②各教科による基礎学力向上と成績不振者減少のための補習指導の実施。 ③学校全体で、分かりやすい授業実践を目指し、管理職・教員相互の授業観察を年2回実施する。 ④長期休業日の後に、課題テストを年3回実施。一般常識テストを年2回実施。 ⑤各種検定受験へ積極的な働きかけ。	①生徒アンケート「補習体制が充実している」肯定 80%以上(昨年：77.5%) ②成績優良者が前年比 10%向上、成績不良者の前年比 10%減少 ③生徒アンケート「わかりやすい授業」肯定 70%以上(前年：62.0%) ④1学年2学期末評定平均の向上。評定平均：2.9以上(昨年：2.79) ⑤生徒アンケート「資格取得について積極的である」肯定 80%(昨年：75.6%)	・各教科による「学び直し」により少しずつ成果が出てきた。 ①補習体制充実：76.1%(-1.4P) ②優良者：35.3%向上、不良者：4.7%減少 ③わかりやすい授業：(+1.4P) ④1学年2学期評定平均：2.91(+0.12) ⑤資格取得：63.3%(-12.3P)
2	・昨年度から積極的に取り組んでいる充実したHPや自治体への回覧板などにより、徐々に保護者や近隣住民に開かれた学校づくりが浸透してきている。さらには、今年度実施予定の小学校との交流事業や既存の各事業を発展・継続させることが課題である。	・小学校や地域住民との交流を深め、学校活動を保護者等に積極的に発信し、さらに開かれた学校づくりを向上させる。	①小学生との交流を実施する。 ②学校HPや一斉メール配信を利用し、常に最新の情報を保護者・地域住民に提供する。 ③学校説明会等の開催情報を適切に行う。また、参加者ニーズを踏まえた、時期や内容の充実を図る。 ④「児玉高校だより」を自治体の回覧板を利用して地域住民に提供する。 ⑤学校行事へ保護者・地域住民への参加を呼び掛ける。 ⑥今年度から新たに契約したバス会社と連携し、スクールバスの効果的な運用を図る。	①高校部活動等の生徒・教員と近隣小学校との交流事業を年5回以上実施する。(昨年度：なし) ②学校HPの更新回数 毎日実施。 ③学校説明会等に参加者数 400名以上(昨年度：344名) ④自治体への回覧板を年4回以上実施する。(昨年度3回) ⑤保護者アンケート「地域や保護者に情報提供を積極的に行っている」肯定 75%以上(前年：67.0%) ⑥スクールバス利用者数の増加 350名(昨年度：298名)	・新規事業における近隣小学校との交流事業や各セクションでの積極的な情報発信により目標をほぼ達成できた。 ①小学校との交流5回実施 ②HPの更新回数：1.3回/1日 ③学校説明会等参加者数 410名 ④自治体回覧板：4回実施 ⑤保護者アンケート：肯定 69.3%(+2.3) ⑥スクールバス利用者数 388名((+90))
3	・長年粘り強く取り組んでいる生徒指導により、基本的生活習慣や服装、頭髪等も徐々に良くなってきている。さらに高めるには、部活動や学校行事等を充実させ、自らが規範意識を高め実践する生徒を育成していくことが課題である。	・部活動や学校行事をはじめとする学校教育活動全体を通して規範意識を向上させる。	①学年単位で毎月集会を実施し、規範意識の向上・整容指導を実施する。 ②生徒会が主体となり各種学校行事の充実を図り、規範意識の醸成を図る。 ③生徒指導を中心に登校・下校指導、遅刻指導、校内巡視を実施する。	①生徒アンケート「服装・頭髪指導等生徒指導が積極的である。」肯定 95%以上(昨年：90.0%) ①中途退学者の減少 前年度比 10%減 ②生徒アンケートで「各種行事が充実している」肯定 80%以上(昨年：74.4%) ③生徒遅刻回数(1,2学期) 全校昨年度比 10%減少	・部活動で関東大会2部5種別、全国大会2部3種別出場と好結果を出した。数値目標達成は厳しかったが、規範意識等は全体的に向上している。 ①服装・頭髪指導：88.5% ①中途退学者前年度比 5.6%減少 ②各種行事充実：73.9% ③遅刻回数：昨年度比 11.8%増
4	・進路についての関心が高いが、目標実現のための行動が伴わない生徒が多い。今年度から開始する1年生の就労体験事業の充実を図り、早い段階で、勤労観や就労観を養うことが重要である。	・生徒全員の進路実現を達成する	①今年度から実施する1年生就労体験事業の充実。 ②進路担当と学年が連携し、進路指導のしおり「メゾ」を有効活用する。 ③3年の早い時期のバス企業見学会、分野別分科会を実施する。また、ハローワークや本庄商工会議所等の外部機関との連携を強化する。	①実施前後の生徒アンケートの勤労観、就労意識の向上。 ②生徒・保護者アンケートで「進路指導で生徒一人一人にきめ細やかな指導を行っている」肯定 75%以上(昨年：63.7%) ③学校を通しての進路実現 100%(昨年：100%)	・新規事業である1年生就労体験事業は目的達成ができた。3年生の進路実現 100%の目標は果たせなかった。 ①就労体験「充実していた」肯定 91.6% ②進路指導アンケート：66.0% ③進路未定者1名(3/18現在)

学校関係者評価	実施日 平成28年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力向上のために、学び直しに着手している点は評価できる。結果が出るまでには時間がかかるが、粘り強く継続して欲しい。</li> <li>・「わかりやすい授業」については、昨年度よりポイントが向上しているが、目標である70%には達していない。引き続き各教科で工夫・研究して欲しい。</li> <li>・学校説明会については、毎年工夫を凝らし、新しい形を取り入れ実施している。参加者数も増加しており評価できる。</li> <li>・新規事業で実施した小学校との交流事業は、新聞にも掲載され学校の良いPRになった。来年度以降も積極的に実施して欲しい。</li> <li>・学校のPR活動として、地元のイベントへの参加、近隣自治会への回覧板を回覧する範囲を拡大した方がさらに良いのでは。</li> <li>・高校からの働き掛けで、女子栄養大学と連携協定を締結したことは評価できる。部活動、授業等がさらに充実するためにしっかり連携して欲しい。</li> <li>・服装・頭髪指導等の生徒指導は、ほとんどの生徒が積極的であると認識していることは良い。今後は遅刻回数減少等に繋げていって欲しい。</li> <li>・目指す学校像を生徒手帳に掲載し、生徒、保護者に認識してもらう。</li> <li>・1年生の就労体験は、時間を守ることの大切さや将来を考えるきっかけになり素晴らしい経験だと思う。アンケートの結果も良く、来年度以降も是非発展させながら継続して欲しい。</li> <li>・進路未定者に関しては、まだ時間があるので粘り強く指導して欲しい。</li> </ul>

